

- 「NICTユニバーサル・コミュニケーション・シンポジウム」
ー図書街プロジェクトの始動に向けてー 開催のお知らせ
 - 平成17年9月2日
-

独立行政法人情報通信研究機構(以下、NICT。理事長:長尾 真)は、来るユビキタス社会にむけ、より人間中心のコミュニケーション技術開発を行う「ユニバーサル・コミュニケーション」という基本コンセプトを提唱しています。このコンセプトのもと、今後の研究開発に取り組むべく、検討を進めています。このたび、今後NICTが進むべき方向性に関して意見をいただく機会とするため、下記のシンポジウムを開催する運びとなりました。

ご多用中のこととは存じますが、多くの皆様にご来場いただきますようご案内申し上げます。
なお、お手数ながら関係者の皆様にも広く周知をお願いできれば幸いです。

記

【NICTユニバーサル・コミュニケーション・シンポジウム】

- ◆日 時:平成17年9月8日(木) 14時～17時30分
 - ◆場 所:東京国際フォーラム(ホールD5)(東京都千代田区丸の内3-5-1)
 - ◆主 催:独立行政法人情報通信研究機構
- 協 力:慶應義塾大学SFC研究所
京都大学学術情報メディアセンター
北海道大学知識メディア・ラボラトリー
- ◆申し込み方法:以下のホームページより申し込み下さい。<http://www.nict.go.jp>
 - ◆参加費:無料
 - ◆内 容:別紙参照(詳細は上記URLよりご覧になれます。)

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
奥山利幸,大野由樹子

Tel:042-327-6923、Fax:042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>

情報通信研究機構 総合企画部 企画戦略室
江本 浩

Tel:042-327-7533、Fax:042-327-7458

Universal
Communication



電子知密都市の誕生



書物の並びが意味を、あらゆる
書棚の連なりが文脈を、うむ
知の編集空間がここに、うごく

NICTユニバーサル・コミュニケーション
シンポジウム

— 図書館プロジェクトの始動に向けて —

2005年9月8日[木]

会場: 東京国際フォーラム / ホールD5

開場: 13:30

総合司会

金子郁容 (慶応義塾大学教授 / NICT専攻研究員)

図書館コンセプト

松岡正剛 (編集工学研究所所長 / ISIS編集学校校長)

田中譲 (北海道大学教授)

清木康 (慶応義塾大学教授)

土佐尚子 (京都大学学術情報メディアセンター特任教授)

高野明彦 (国立情報学研究所教授)

有村博紀 (北海道大学教授)

山口昭男 (岩波書店 代表取締役社長)

安西祐一郎 (慶応義塾)

VTR出演(予定)

杉浦康平 (グラフィックデザイナー)

山口昌男 (文化人類学者) ほか

久保田文人 (NICT情報通信部門長)

松島裕一 (NICT情報通信部門長)

大森慎吾 (NICT理事)

塩見正 (NICT理事)

長尾真 (NICT理事長)

NICT 独立行政法人 情報通信研究機構
National Institute of Information and Communications Technology

主催: 独立行政法人 情報通信研究機構

協力: 慶応義塾大学SFC研究所

京都大学学術情報メディアセンター

北海道大学知能メディア・ラボトリー



参加申し込み方法

※入場無料ですが事前申し込みの上、ご登録いただきますよう、お願いいたします。

■オンラインによる登録の場合

下記URLにアクセスのうえフォームに必要事項を記入
<http://www.nict.go.jp>

■FAX・郵送による登録の場合

下記番号または住所に必要事項をお送りください。
FAX: 042-327-7599
〒184-8795
東京都小金井市貫井北町4-2-1
独立行政法人 情報通信研究機構 情報通信部門
【必要事項】氏名(ふりがな) / 団体・企業名 / 役職名 /
電話番号 / E-mailアドレス

Program

■開場 13:30 ■開演 14:00

セッション1 ユニバーサル・コミュニケーションへの チャレンジ

○開会—ユニバーサル・コミュニケーションとは

：長尾真

○NICTの次期構想について：大森慎吾

セッション2 電子知密都市の実現に向けて

○図書館のコンセプト：松岡正剛

○図書館プロジェクトの全体像：金子郁容

セッション3 研究開発スコープ

○データベースの可視化・実体化と

ナラティブ連想アクセス：田中隴

○“時空間的コンテキスト”による

情報発見のためのデータモデルの実現に向けて

：清水康

○カルチュラルコンピューティング

—図書館の文化構造とルールをもった

直感的インターフェース—：土佐尚子

○グローバルな知のネットワークングへ向け

：久保田文人

セッション4 プロジェクトへの期待

○VTRメッセージ

山口昌男 / 杉浦康平 ほか

○リレートーク

松岡正剛・金子郁容

山口昭男

高野明彦

有村博紀

安西祐一郎 ほか

○閉会：塩見正

(終了 17:30) 予定

松島裕一

NICT情報通信部門長

シンポジウムの開催にあたって



NICTは、来るべきユビキタスネットワーク社会を支える情報通信技術の研究開発を基礎から応用まで一貫した統合的な視点で行い、併せて情報通信分野の事業支援等を総合的に行っています。その中、情報通信部門は情報セキュリティ、ユビキタス・ブロードバンドネットワーク、及びヒューマン・コミュニケーションの3つの柱を掲げて研究を進めています。特に、ヒューマン・コミュニケーション研究では、人にやさしい情報通信技術を目指して、通信メディア・言語処理・ヒューマンインターフェースの研究を進めています。これからは、より人間中心のコミュニケーション技術開発を行うユニバーサル・コミュニケーションを基本コンセプトとして研究開発に取り組んでいこうと考えています。

この度、ユニバーサル・コミュニケーション・シンポジウムを開催し、図書館プロジェクトの始動に向けて外部の有識者及び関係者から今後の研究の方向性に関してご講演あるいはパネルディスカッションにより意見をいただくこととしました。

是非とも本シンポジウムにご参加いただくとともに、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、お手数ながら関係者の皆様にも、広く周知をお願いできれば幸いです。

総合司会

金子郁容

慶應義塾大学教授 / NICT専攻研究員



人や知識をつなげる 研究開発プラットフォーム

人類の知的・文化的活動の資源は世界中に分散的に存在しています。ネットワーク上にオープンな「知の編集空間」を構築して、それらをつなぎ、関連づけることを可能にするのが図書館プロジェクトです。ICT(情報コミュニケーション技術)の多様な展開に向けて、新規性のあるデータモデルや検索技術を開発し、実社会と連動した。また、文化や言語の境界を超えて人や知識をつなげるユニバーサル・コミュニケーションを促進するプラットフォームの一つを提供することを目的としています。

このプロジェクトでは、有史以来のコンテンツを表現しつづけてきた「書物」をあらゆる情報の基本単位ととらえ、それを格納する「本棚」が「道」「界限」「広場」などの中に配置された三次元の「図書館」の街として「知の編集空間」を表現します。(これは、図書館プロジェクトコンセプトの松岡正剛氏が長年あためてきた構想を基にしたものです。)この「街」には、書物があふれ、人が住み、利用者が訪れ、街を散歩し、特定の知識を探し、連想し、インスピレーションを働かせる。そして、他の人とのインタラクションによる創発が生まれ、ひいては、共同知や文化が創造されます。



NICTユニバーサル・コミュニケーション・シンポジウム —図書館プロジェクトの発展に向けて— 「電子知密都市の誕生」 / 2005年9月8日(木) 東京国際フォーラム ホール05
主催：独立行政法人 情報通信研究機構
協力：慶應義塾大学SFC研究所 京都大学都市情報メディアセンター 北海道大学知識メディア・ラボラトリー
問い合わせ先：独立行政法人 情報通信研究機構 情報通信部門
TEL 042-327-7437 / E-mail kcsympo@nict.go.jp

Liサイズルベーターを使用しております。